つんからつん。 新任医師 特集

「つんからつん」…「次から次へ」という意味の富山弁。
スタッフの素顔を次から次にご紹介していくコーナーです。
今回は、今年４月に着任した新任医師２名をご紹介します。



竹生（ちくぶ） 浩人（ひろと） 医師

西能病院 整形外科

疼痛（とうつう）治療と徹底的に向き合う！

医師を志したのは、中学生の頃に見た医療ドラマ「医龍」がきっかけでした。「麻酔科医って何？」という素朴な疑問から医療に興味を抱き、「自分も麻酔科医になりたい」と思うようになりました。もともと痛いのが嫌いだったことから大学では疼痛治療学を学び、ペインクリニック専門医の資格を最短で取得すべく麻酔科へ。慢性疼痛外来で多くの患者さんを診療する中で「痛みの原因が正しく診断されていないことが多い」と気づき、診断から手術までできる医師を目指して整形外科に転科。症例数が多く、各専門医が揃う西能病院に着任しました。

アロマを取り入れた診療も

現在は、これまで培った疼痛診療の知見を活かして診療しています。また、アロマテラピーアドバイザー、アロマハンドセラピストの資格を取得。診療にアロマを取り入れ、不眠や痛みの緩和に役立てた経験も。

「西能病院は明るく元気な職員が多く、スポーツに熱い人も多い！」と語る竹生医師も、実は陸上部出身。五省会マラソン部に所属し、10月には富山マラソンに初挑戦予定です。

竹生医師から、最後に患者さんへ一言！「お一人おひとりに合った治療方法を一緒に考えます。痛みに悩んでいる方、ぜひ一度ご相談くださいね！」



